



忠臣山賤傳

五

遠 13
3/7
5



門遠 13
號 317
卷 八

本宗

忠臣山賊傳卷之五

車夫湯姪

東都

桃華山人著

其叔並義深公小八館を立退むひりより三人のもの
と發固しまのせ右侍つ佐貞顯り本領くぬ舟木よ
去り御身成忍かむせぬひつきども女悪ろともか
隠練つれどもたうりかき辨小外小隨遂まひつき武
士とももあうりかぬハ且越後の小越丸屋見七郎と
御とのさあさ死しゆく主後らう四人あつ作山伏小
成妻られく日殺らるまの程もあつ不破の園屋成ら
となく拍原小とう里くぬ折しも秋乃由人まらぬの相

忠臣山賊傳卷之五

昔山寺のふりけりきもころくと寤ぬゆのか子うち
 群々孫ぞく成のそぐ黄昏ど死未涼き扱るそ命の中
 小女のよくと泣ぬる声のききくこれと君成始とく人
 くもとふ是成何やと如何あ家者乃茲よ来と何事
 成斯もきつるやと十郎太夫後改小命せらまくと是とお
 させのふさう小其在所成ころとこれむいふく辨しき
 事小おとひくと貞成重おもとむと小此処よ彼処とる
 多ぬに大きある松の根の朽く洞ろくと小ありと家申
 小四十とろり男れ十八九さいとも乃家女乃さまと賤
 うとさぬ成情あくもうらち小荒縄成とくいまと免
 篠竹乃志と成をくおとさきはく責ぬる所里後改ハ

是成一月とるより男が持とるまゆと成とり奪うれがうひあ
 とくとりとるふゆらいうある者ゆと此女成はうと呵妻お
 おとひつととつ小男とくとりとるハ此者こそとれお
 身縁のものとふさむとむと此れと蜜男とくくひ独の母
 成も免家おも欺きまがうと返電これと後ある
 痛めと扱へるとま折檻をとくかお小連ゆり侍おあり
 と滅しやうふひく成女ありと消しと事のある
 まと成とてとととと男とけく言とえつとせまがりなれ
 む後改と彼男成引とて違ふとあくと居お成成ま
 のよう成耳治は始と終まくと此あまると成皮と
 くれバ継母り男ふと九七とつと車まありとろが妻ハあ

聾ま婦小いざふれく白山小借る乃あく毒酒成あそく
ま婦成ぶぐうへえ。そのひま小舟小く小連きく成り
しとまむむ赤くなく終ふくつても縛られ妻らむ
あり。是より一里むり成経く姉兄のころあれ林の
うち小毒酒小何り赤研きむとつふど成重ハ皮より
女う縛成となく戒くよた小まうひはつりと重し心配あぐ
くをそと厭く後改ふくと強うこれバも免より強あぐ
とハ知くつたりとく九七成とく大地つど赤つも女と
縛く荒縄成とく高年小子小いましお松の持木小結
おなく。女小案問させらま婦の者も成おる小果し毒
酒小あつりくとんえ。苦痛小絶むとく居り。後改と懐

中より美成出く二人の者小あをれを良業乃功強立処よ
何り毒酒乃碎とさせんとくその心地とあり小わり園
云清ま婦も何り成刃廻し洞をおがくつひたりとく
も九七の小欺くま〜その口惜きよといふと後改とねそ
とおとひ刃をけけ二人も小心らた〜ふあり々ぬうさつをひ
ま〜と九七と中〜と家〜縛おれ〜といふと園
手成合せ〜後改成拜あ〜。何方の脚方ふま〜ませ
されも謝〜ま〜小刃あ〜ゆるあり〜と田の女末女も兩
手成合せなくより不の刃もあ〜。かり小起ま〜。始終の事
ともおか〜りあ〜小縛ら〜九七が〜三人の〜り
そ〜何故小ま〜殺〜ま女成何玉へ連り〜。後改と

同れどもその成もいそいで在るは久松俊成重も君の侍
前も子成つて。さうもくも悪き下等り跡少くもも誘同
りくわく事のように成るも一申さしやし伊ふぞ不使り者
しもあれど一もあふくも得させよの御討小成重八九七の
側小形く刀成抜く暇取小実つまといふ下等命賜ししと
成教も有る侍たうく成白状ぬ入申す。はくは深しぬま
りりてハ討果も成しと荒らふ同れむ未女が継母村尾と
り者ふふのまき侍りて奪るる上ハまゝぬ花街小代あり
く莫金と兩人くく分ちぬる約縁ありと隠さ守白状一
後村尾未が仁本俊勝より忍成ありく洛の夢動寺小くま
住ぬるくまゝくつゝも小縁もさうよあり命と助もれと位

これハ貞顯のいひくも申其奴成とけぬふと仁本が志成奪
つ家妨あるをいひくも同縁しつゝも小縁もさうよあり命と助もれと位
成るくもくもくも九七が首ら砂の上めそ成りてくも悪し
巧きく猶も時成福さ守身小むく舞の程とて心地く然
りく後俊政ハ園を清が身の上成るぬ小綿洗村ある清
の本劍助り親族の者あり先頭仁本よの為小洛ハ豊し
しれ難成免ささせまゝと越の御神小誓し向成度歩
成くもいひ此くも。さうも九七が為小惱もさうかろ仕入ぬ
目くぬに殿くもろの御情小致りぬるもいひくも念しむもぬ
白山の神の御意ありとくもいひありしは小浪も
まゝりたり俊成ハ此事成さより然あつと其方とて成る



者も負成千乃乃底よりも揚ぐとハ名高が云乃れも云々
 の利もまゝ虫意小過く事ハあゝと云六韜の真旨あり
 歌道乃拒機たりと流るるも美あるの如く山科正盛と
 何所とあり私邸成出く流るる如く任家成と尋常の人
 本劍助成と事の中成記さるる一黨乃練成聞く滝乃
 本劍助成と事の中成記さるる一黨乃練成聞く滝乃
 光長と心成合さる刺者乃練成免光劍助成ひそく任家
 本劍助もまゝ源丸思魚乃在るべし小も一々東山の館小
 入込んとおひさるる折るるあまは流乃武士とありはるも

こゝに情成受たわく將一正盛が喜ぶ所ハ無二の志成さる
 年奪り成送りたり然小義隆公小随ひ進く人ハ斯
 正盛が隠れ小まり。逆意乃事ハ中し成せらるる小い
 後勝が逆心小まらる方もあつた。近く小事成たり
 針上しとさるる中成返書小強く義隆公乃流行く
 正盛乃庄ゆく冥冥流とせし者ありしが不忠儀乃知遇付
 正盛乃庄ゆく冥冥流とせし者ありしが不忠儀乃知遇付

山田傳卷之五

御宇思に致し武士とありて登り身小くく冥加小余
 仕合たり。されば妻成も具し一人の妹成ももあひさし
 がお表深く憐れさせしむひく。縁路の宿り小女成ももあひさ
 乙し。世も目まがほしれが二の浪れをまが跡小引連く
 しうやん成致すべしとの作ありとかりたりふ左清門をま心
 ちくうけがひお表の御殿とあり何の子細う有る心
 く日具せれしとゆを。照春も安堵のちとひをありく。田
 の女姉妹成三條の宿より。左清門をまが住お小致す
 其身も体しひく。めまの頭くくく越路成さく
 虫りく。己小光陰もやううと道く。頃とめ焦元年の妻
 も海生り花盛小溪縁御室東に地至清多乃娘ひ小死見

群集乃務ひとくも中く跡なり。田の女姉妹と心成小服を
 こひ此所彼所乃死成たか免あ行致ゆくふおがく
 夕陽西の山乃たふ同橋くうひ近も清多乃地至の搦小見
 とま茶屋が床几ふとこひ成のくき。四方乃くく死成あく免つ
 申入の死れおあびくうハ一不見とくうあくあよとく
 ちくく脱が。路う不とも遠くをどや啼らんとの成と
 ぬたか死の憐れく。死ふも余波をくあよと姉妹とむつ
 ちつ五條坂成くうはるが。松系通小出ぬる乃よ六波羅
 とくく養世の河の東ハ本深き林志がくくき道山乃松風指
 ちくくくくく。折しもゆく人乃くくく。寂まのす
 光系よあま田乃女末女も乃成いと死く四條河原小おんと



悪僧毒婆北山
二女茂窺ふ



山則傳卷之五

十一

いさやぶら此方へいざせせむらうらうらものわすいこをさるる庵
 二三町もこたすある茶店小庵をあらぶる免やこら
 こし角やちをさるうと悪針さるが寂法さるけうち小佐と
 四葉成さるさるら。わらふうさるる八夜平ととよくれ一旦
 寺小立久りく解く小配の用意さるさるさるさるさるさるさる
 兩人を并連さるら夏秋さるさるさるさる。斯あさるね村尾の
 夕日さるら今夜さるさるを彼家あはれ古はら成持り盗人
 の持あさるら。猿樂成さるさるさるさるさるさるさるさるさる
 いささく出さるら。いささくけさるさるさるさるさるさるさるさる
 所あり彼望人ふりかさるさるさるさるさるさるさるさるさる
 とやさるさるら。相蓋をひらるさるさるさるさるさるさるさるさる
 奇遇成さるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさる

く幸ふいさるさる能いひ合さるさる上あさるさるさるさるさるさる
 扱たれさるさる其日の昏る成さるさるさる寂法村尾の兩人さるさる
 さるさる空鳥の筆成さるさるさる二の旗のさるさるさるさるさる

雨暴奪女

左清門をま正感八庵乃本創助成涙しやれさる中津川近
 用立さるら六きの人日暮さるさるさるさるさるさるさるさるさる
 助小まさるさる其後いさるさるさるさるさるさるさるさるさる
 侍まらさるら。さるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさる
 さるさるさるら。さるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさる
 小助さるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさる
 小助さるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさるさる



工部局蔵書

佛泉齋國重画



正盛市原野
 手女が
 危難成
 救ふ

山見作卷之三

十四

上り上り小意あがり乃ありるふあれをそしらぬなり
 ありふしとらりうちよおき免ちとも十未むりり
 此處も法師の首と老女の首と二飯むらめどさてハ
 盗賊あんどの仕業ゆき切くさてとりととけりく立
 へんふお是ハいう法師もはきくお叔父も降成ち
 乃寂法阿周梨ゆて女まがふくも免れ能継母の村尾
 ありむくれハ心小まつとおらたききもう世魂も消せん
 とむらむりある成ちぬ幸小小妹を小いうち深しつ
 先此首とかりむらうと成此所小埋くつり半と免れあり
 人乃免れくそく免れ阿望さぬ小ありぬ教をそのまふ
 免れとてむらゆるもハ道成志免者乃つとと免れ所小

何々まことつふぞ。小妹をももに突もと思ひ去然うがち
 くおたぐふ首を法免埋くやがてや道中も創賜ふ
 おりひくハ三世の業因のありきくが生流ゆまといひ
 とハ云ふが。悪心ハ果成しせざぬる。貴も命たも此
 理成通るるハあそざくし今家伯叔と家阿周梨
 を始継し免中りとも現立る母あり。能業乃終事と
 ありむひしをまの何々も免れあがも。世乃義理の
 らまろ。面と面を合もこりとも何をうそひるも
 とがもハ是も流轉の業因のしと。綱巡り悪果を
 ぐ。然あまむ善成りてと。免れハの免れ善成りて
 悪成積り免れも免れ。綱をま結く。道小已成亡も

